

▼土木に関わる人と活動/つなぐ活動

土木学会インフラパートナーグループの活動開始！

インフラパートナーグループ&土木と市民社会をつなぐフォーラム 幹事長  
シビルNPO 連携プラットフォーム 常務理事/事務局長  
メトロ設計(株) 取締役

田中 努



■「土木学会インフラパートナー」とは



「土木学会インフラパートナー」とは、土木学会が市民団体との連携を目的として2020年度に立ち上げた「インフラパートナー制度」に沿って、土木学会の会長と支部長と団体代表との間で「インフラパートナー合意書」を結んだ団体のことです。

インフラパートナー 合意書

特定非営利活動法人シビル NPO 連携プラットフォーム（以下、「CNCP」という）と公益社団法人土木学会（以下、「土木学会」という）は、お互いを「インフラパートナー」と位置付け、国土保全・インフラマネジメントに携わる同士が連携することにより、地域インフラの質的向上を図るとともに、その関連活動を楽しみ推進することを目的に、下記の通り合意した。

- 【連携内容】
- ・双方の活動の広報に関すること（イベントの案内・後援等）
  - ・双方の活動に資する情報交換に関すること（他団体交流等）
  - ・その他、本合意の目的に沿うこと
- 【確認事項】
- ・双方は相互の独立した活動を尊重する
  - ・相互に経費負担の義務を負うものではない
  - ・各行事については主催者が安全を始めその責務を負う
  - ・第3者と連携・協力することを相互に妨げない
  - ・連携にあたり知り得た相手方の情報の取り扱いについては留意する
  - ・合意期間は1年、その後自動更新とし解約予定日の1か月前に通知する
- 【その他】
- ・疑義及び変更の必要が生じた場合には、別途協議する
  - ・具体的な実施内容については、双方合意の上決定する

2021年2月24日

特定非営利活動法人シビルNPO連携プラットフォーム  
代表理事 山本 卓朗  
公益社団法人土木学会  
会長 家田 仁  
公益社団法人土木学会関東支部  
支部長 樫山 和秀

私たち CNCP もインフラパートナー団体の1つで、右がその合意書です。ここに書かれている「合意」の内容は、次の通りです。

- 1) 地域に根差したより密接な『連携』という観点から、インフラに関わる市民・団体とパートナーシップ（合意書）を結び、土木学会各支部を交え、連携を図る。
- 2) 協定に沿って、次の活動を推進する。

●土木学会側

- ・パートナーが開催するイベントへの参加及び後援・広報PR、講師等専門家の派遣
- ・パートナー活動を土木学会の広報ツールにより対外的に発信
- ・本部委員会、支部及び他団体との交流・情報交換の場の提供など

●インフラパートナー側への協力要請

- ・土木学会のイベントへの参加・PR
- ・地域インフラ改善のための提案
- ・本部委員会・支部との交流など

右の表が、全国にいるインフラパートナー団体の仲間で、それぞれ、土木学会の右端欄の支部との繋がりを持っています。

インフラパートナー団体（全18団体）

|    | CNCP<br>通信<br>Vol | 団体名                           | 所在地・活動地域    | 土木学会<br>所管支部 |
|----|-------------------|-------------------------------|-------------|--------------|
| 1  | 89                | 一般社団法人 シーニックバイウェイ支援センター       | 北海道 札幌市     | 北海道          |
| 2  | 102               | NPO法人 ほっかいどう学推進フォーラム          | 北海道 札幌市     |              |
| 3  | —                 | NPO法人 青森ITSクラブ                | 青森県 青森市     |              |
| 4  | 90                | みんなで守る。橋のメンテナンスネット            | 福島県 郡山市     | 東北           |
| 5  | 104               | 庄内・社会基盤技術フォーラム                | 山形県 酒田市     |              |
| 6  | —                 | NPO法人 シビルNPO連携プラットフォーム (CNCP) | 東京都 台東区     | 関東           |
| 7  | 97                | NPO法人 国境なき技師団                 | 東京都 新宿区     |              |
| 8  | 91                | NPO法人 グランドワーク三島               | 静岡県 三島市     |              |
| 9  | 101               | 北陸インフラ総合連絡会議                  | 富山県・石川県・福井県 | 中部           |
| 10 | 88                | NPO法人 神岡・町づくりネットワーク           | 岐阜県         |              |
| 11 | 94                | シビル・ベテランズ&ボランティアズ (CVV)       | 関西圏         | 関西           |
| 12 | 93                | NPO法人 あすの夢土木                  | 大阪府 大阪市     |              |
| 13 | 92                | しゅうニャン橋守隊                     | 山口県 周南市     | 中国           |
| 14 | 95                | かがわ里海大学協議会                    | 香川県         |              |
| 15 | 112               | 四国防災八十八話・普及啓発研究会              | 徳島県・香川県     | 四国           |
| 16 | 99                | 噂の土木応援チーム テミーとマツ              | 長崎県・福岡県     |              |
| 17 | 96                | 道守養成ユニットの会                    | 長崎県         | 西部           |
| 18 | 113               | 宮崎「橋の日」実行委員会                  | 宮崎県         |              |

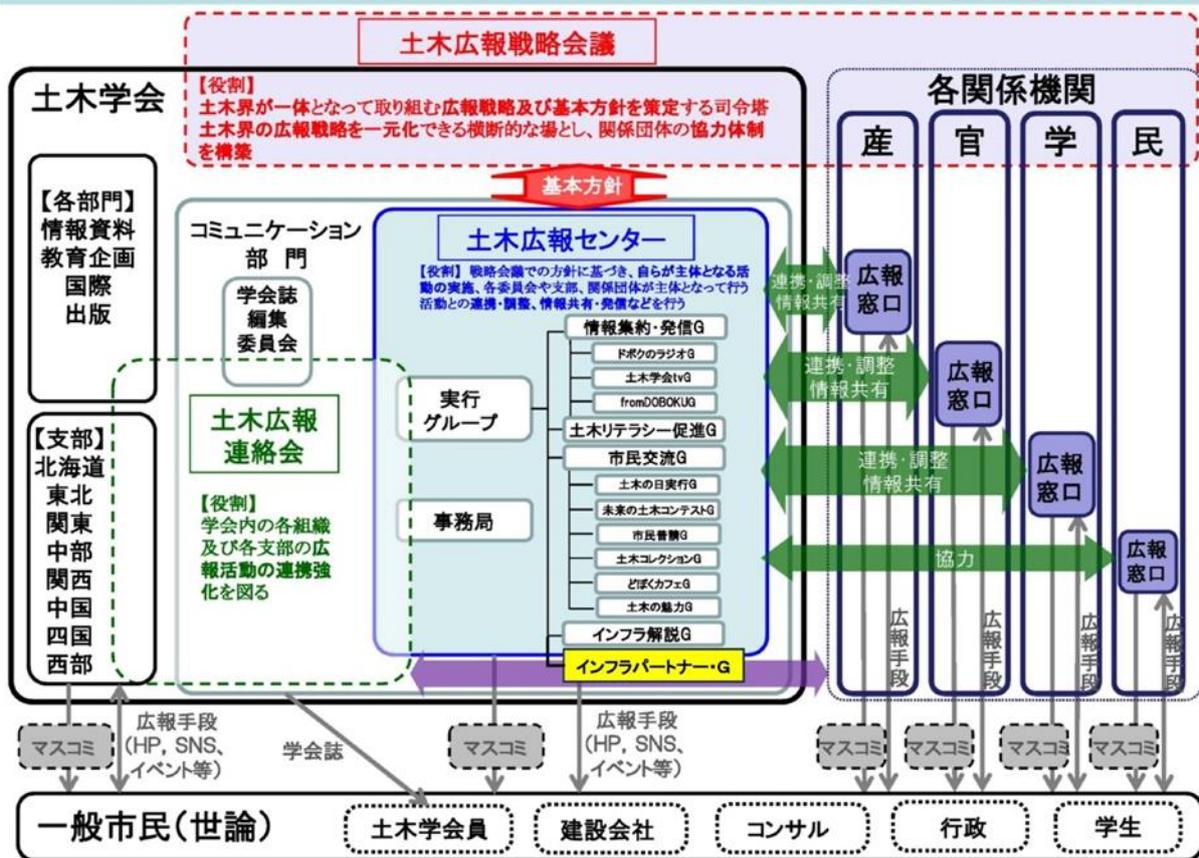
■「シビルNPO 推進小委員会」から「インフラパートナーグループ」へ

2014年のCNCPの設立と併せて、土木学会には、連携窓口となる「シビルNPO 推進小委員会」が設置され、これまで、この小委員会の委員とCNCPの理事・会員が連携して、様々な活動を行ってきました。しかし、昨年度、学会事務局から親委員会の「教育企画・人材育成委員会」の活動見直しが求められて、再編検討が行われ、この小委員会が、常置委員会ではなく、通常原則2年で終了する「時限委員会（タスクフォース型）」に位置づけられ、土木学会との繋がりが切れることになりました。

そこで、「コミュニケーション部門」の「土木広報センター」と相談し、今月（4月）から「土木広報センター」配下の「インフラパートナーグループ」（下図参照）として活動することになりました。

「土木広報センター」は、CNCP 設立時に、学会トップの思いであった「土木と市民との溝を埋める」という活動を、「土木広報センター」は学会の立場で、「CNCP」は民の立場で行うとして設置された「兄弟組織」と言えます。

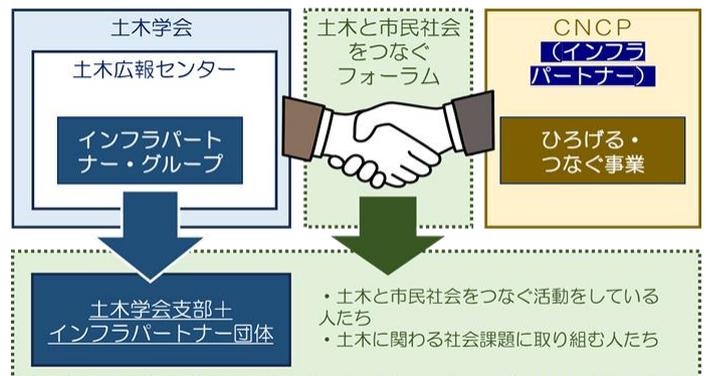
土木広報戦略会議・土木広報連絡会・土木広報センターの組織図(2023年1月時点)



■「土木と市民社会をつなぐフォーラム」と「インフラパートナーグループ」の関係

これまで、「シビル NPO 推進小委員会」とCNCPは、その他の賛同者とともに、「土木と市民社会をつなぐフォーラム」という「どこにも属さないバーチャルな情報交換の場」を作って、協働してきました。

このフォーラムの目的は、「①土木と市民社会をつなぐ活動をしている人たち」と「②土木に関わる社会課題に取り組む人たち」の活動紹介とフォーラムとの情報交換、およびその方たち相互をつなぐための連携・協働することであり、インフラパートナー制度の目的と本質的に同じです。



インフラパートナーは、土木学会との「合意書」を結んだ団体ですが、フォーラムの対象は、それより広いので、前掲図のように、フォーラムに内包できます。

また、インフラパートナーが同様の活動をしている他の市民団体と情報交換や連携したり、新たなインフラパートナー候補を探す場合に、既にそのような団体とつながりのあるフォーラムや CNCP との連携が有用だと思えます。

## ■2024 年度からの活動方針

土木学会コミュニケーション部門の 2023 年度の事業計画には、「土木学会と市民協働団体との連携を目的として、2020 年度に立ち上げた『インフラパートナー制度』の拡充を図るとともに、インフラパートナー相互の理解を深める。」とあります。「インフラパートナーグループ」は、これを実施するために、設置された組織です。

まずは、次の 3 つの活動方針で、取り組んでいきたいと考えています。

- 1) 現在のインフラパートナー団体と土木学会との接点を増やす
  - ・活発・意欲的なインフラパートナー団体から、意見交換を行い、ニーズや関わり方を検討する。
- 2) インフラパートナー団体を増やすための方法・ツールの検討
  - ・18 団体から、30 団体程度まで増やすイメージで。
- 3) インフラパートナー団体の活動を外に発信していく
  - ・既存の広報ツール（土木学会 HP や CNCP 通信他）を活用し、インフラパートナー団体の活動を紹介していく。
  - ・インフラパートナー団体である CNCP の活動（CNCP プロジェクト）も、土木学会のインフラパートナーのサイトに投稿し、切っ掛けを作る。

上記 3) の 1 つめの事例として、既に、CNCP 通信に、インフラパートナー団体の活動紹介を寄稿していただいています。冒頭の「インフラパートナー団体（全 18 団体）」の表の左から 2 列目に、記事の掲載 Vol. が書いてあります。

今月から、CNCP と土木と市民社会をつなぐフォーラムで運営しているホームページで、CNCP 通信の検索システムの運用が始まりますので、検索条件に、表の Vol. 番号か、所属団体に「インフラパートナー」と入力していただくと、皆さんの活動紹介記事が参照できます。

■PC で見るとは、下記からお入りください。

<https://npo-cnccp.org/journal/backnumber>

■スマホで見るとは、右の QR コードからお入りください。



## ■インフラパートナー18 団体の皆様へ

前述のような経緯で、土木学会の土木広報センターに、「インフラパートナーグループ」が設置され、CNCP と土木学会の連携窓口として設置されていた「シビル NPO 推進小委員会」のメンバーが移って、活動します。

まずは、上記の方針のように、皆様との意見交換から・・・と考えております。後日、連絡を差し上げます。また、皆様から、ご意見・ご要望がありましたら、お寄せください。

どうぞ、よろしくお願いいたします。